



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

愛知県支部

広報誌

# 日赤あいち

No. 147  
2021.夏



人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.



## ▶コロナ禍でも命を救うための講習をつづける ～オンライン講習に迫る～

- ▶ 令和2年度決算概要
- ▶ 愛知県内赤十字病院の名称変更のお知らせ
- ▶ 日本赤十字豊田看護大学オープンキャンパス2021
- ▶ 10代夏の献血キャンペーン
- ▶ クロスサポーターに聞く! 株式会社ワンダーランド

## クロスサポーターに聞く!!

日本赤十字社愛知県支部とタイアップし様々な活動に取り組む企業、団体、人物を紹介します。

No. 34

株式会社ワンダーランド  
代表取締役 専務取締役  
佐々佳広さん 佐々裕子さん

活動内容  
創業25年の日進市にある不動産会社です。地域密着で住宅に関するサービスをメインとしています。寄付をはじめ赤十字を応援する様々な取り組みを行っています。



佐々佳広さん

佐々裕子さん

### 様々な取り組みで赤十字に思いを託す 事業を通じた 社会貢献を

創業した当初から、いつか事業を通して地域や社会に貢献することを目標としていました。幸いなことに人に恵まれ、少しずつ会社を成長させることができました。今では、社員の中に地域の消防団や商工会の青年部で活躍するくらい地域を愛している者もいたり、社屋で感謝祭を年2回開催するなど、地域に寄り添った会社になりました。

地域や社会への貢献を様々なかたちで行っていますが、以前、家族が赤十字病院にお世話になったことがきっかけで、お役に立てればと思い赤十字への支援を決めました。

### 多様な方法で 赤十字を応援

株式会社ワンダーランドでは、寄付を通じた支援に加え、色々な方法で赤十字を応援しています。新型コロナウイルス対応をする医療従事者へメールを送るプロジェクトに参加して、社屋の窓ガラスに大きくメッセージを貼り出しました。また、自社の折り込み広告で赤十字の活動を紹介したことも

### 赤十字に思いを託して

私たちがどこかで大きな災害が起きた時、支援したい気持ちがあっても、最前線へ困っている人を直接助けに行くことはなかなかできません。そのため、その思いを赤十字に託しています。赤十字に託して支援を届けるということは私たちの働く喜びにもつながっています。

- 1/医療従事者への応援メッセージ
- 2/レンタルスペースの寄付つき自販機
- 3/ワンダーランド社屋

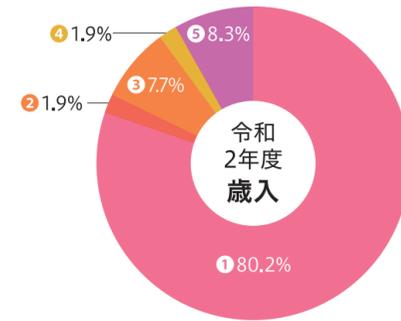


様々な取り組みで赤十字に思いを託す

## 令和2年度日本赤十字社愛知県支部一般会計歳入歳出決算

令和2年度、愛知県支部では個人・法人の皆さまからいただいた会費(社費)や寄付金を主な財源として、災害救護をはじめとした人道支援活動を実施いたしました。

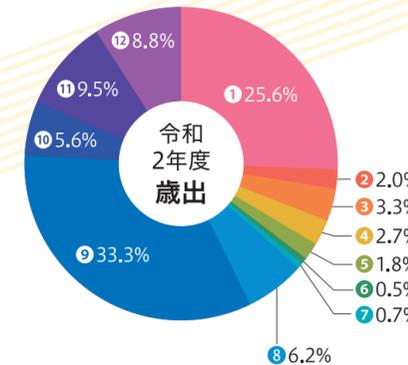
歳入 16億7,748万9,588円



内訳

1 社資収入	1,345,372,445円 (80.2%)
2 委託金・補助金及び交付金収入	31,677,346円 (1.9%)
3 資金繰入金	129,237,290円 (7.7%)
4 資産収入・雑収入	31,174,429円 (1.9%)
5 前年度繰越金	140,028,078円 (8.3%)
計	1,677,489,588円 (100.0%)

歳出 14億9,025万9,624円



内訳

1 災害救護事業と救護看護師の養成	381,046,591円 (25.6%)
2 救急法や健康生活支援講習などの普及	29,838,601円 (2.0%)
3 赤十字ボランティアの活動と育成	49,271,161円 (3.3%)
4 青少年赤十字の育成と普及	39,548,130円 (2.7%)
5 社会福祉事業など	26,615,705円 (1.8%)
6 血液事業の普及啓発	7,843,589円 (0.5%)
7 国際的な活動	10,002,620円 (0.7%)
8 広報・活動資金募集	91,970,078円 (6.2%)
9 赤十字病院救急医療体制の整備	497,061,560円 (33.3%)
10 市町村における赤十字活動	84,184,185円 (5.6%)
11 全国的な赤十字活動	141,210,276円 (9.5%)
12 支部の運営	131,667,128円 (8.8%)
計	1,490,259,624円 (100.0%)

※歳入歳出差引額187,229,964円は翌年度の継続事業のために繰り越されました

### PICK UP



#### 災害救護事業と救護看護師の養成に

令和2年7月豪雨災害に対し熊本県へ職員を派遣しました。また、今後の災害への備えとして、訓練・研修や救護用資機材の整備等を実施しました。



#### 青少年赤十字の育成と普及に

新型コロナウイルス感染防止や、感染拡大に伴う差別や偏見について考えるための教材を授業で活用していただくために、県内の学校に配布しました。



#### 社会福祉事業などに

新型コロナウイルス感染拡大に対する緊急対策事業として、児童養護施設の入所児童や、外国人学校・日本語教室に通う外国にルーツのある子どもたちに、オンライン学習に必要なタブレット端末等を配布しました。休校措置や「新たな生活様式」を踏まえた学習の導入で、自宅でのオンライン学習の必要性が高まるなか、自身で学習環境を整えることが難しい子どもたちへの支援事業として実施しました。

### 活動資金

#### ご協力ありがとうございます

日本赤十字社愛知県支部へ活動資金として多額のご寄付をいただいた法人様

- 株式会社不二機販様
- 株式会社ミニミニグループ様
- 三協化成産業株式会社様
- 株式会社いずみ建設工業様
- 株式会社メディアボックス様
- 株式会社ネクステージ様
- スズラン株式会社様
- 江口光株式会社様

赤十字事業は、皆さまからの活動資金のご協力によって支えられています。

ご協力をお願いいたします

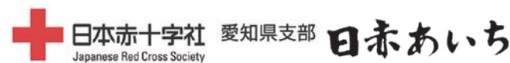


郵便振替口座/00860-1-732

日本赤十字社愛知県支部

郵便局備え付けの払込取扱票でお手続きください。ご不明な点は日本赤十字社愛知県支部事務局総務企画部赤十字会員課まで。

TEL 052-971-1596 (直通)



〒461-8561 名古屋市東区白壁1-50 TEL052-971-1591(代表)  
発行元/日本赤十字社愛知県支部 発行日/令和3年7月1日



Twitter



活動の詳細や最新情報はウェブサイトやSNSへ

日赤あいち 検索  
https://www.jrc.or.jp/chapter/aichi/



Instagram

NISSEKI.AICHI

※事業報告の詳細については、日本赤十字社愛知県支部のホームページでご覧いただけます

# コロナ禍でも命を救うための講習をつづける ～オンライン講習に迫る～

## 昨 年から続く新

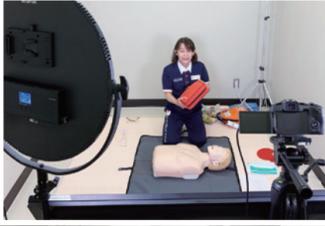
## 型コロナウイ

ルス感染症の影響で、多くのことが以前と同じようにはできなくなっているなか、日本赤十字社愛知県支部では救急法や幼児安全法などの短期講習をオンラインで開催しています。

※救急法短期講習：「心肺蘇生とAEDの使い方」をオンラインで開催します  
※幼児安全法短期講習：「子どもに多い事故 その予防と手当て」「子どもの病氣と看病」「幼児・乳児への心肺蘇生とAEDの使い方」をオンラインで開催しています

## ーオンラインでつなぐ講習ー

通常の講習は受講者と指導員が対面で行いますが、緊急事態宣言が発出され指導員の派遣ができなくなるなど、対面での開催が困難となっています。オンライン講習ではテキストや実技で使う教材を事前にお渡しし、当日はWeb会議システムを用いることにより、パソコンやタブレット端末を使って受講者と支部にいる指導員が直接やりとりできる環境で講習を行います。



対面のときと同様に、テキストやスライド、映像を使って指導員が講義を行います。その後、指導員による胸骨圧迫などの実演を見て、実際に教材を使って練習を行います。



練習の様子は支部にいる指導員がチェックし、アドバイスをしています。大人で講習を受ける場合、実技を行うグループごとにパソコンやタブレット端末を用意していただくと、各グループの実技をよく見ることができ、詳しくアドバイスを受けることができます。



## 実際にオンラインの講習会を受けた方から感想をいただきました



**安城市立祥南小学校 岡戸 俊之 校長**  
学校の教員は、子どもたちの命を守る現場にいるため、万一の事があつた際にはすぐに対応できるようにする必要があります。そのため、対面形式で講習ができなくても、オンラインで開催していただけるのは、AEDの使い方や心肺蘇生の方法を忘れないためにも大変ありがたいです。

## 泉の杜保育園 若杉 洋孝 園長

オンラインでの研修を様々な場面で既に取り入れていることもあり、準備は思ったよりスムーズにできました。  
ビデオを見るだけの研修とは違って、指導員の方とやりとりができるので、わからないときに質問したり、実技を見てもう一度確認できるので良かったです。

## オンライン講習の現場から

### オンライン講習を始めたきっかけ

そもそもオンラインでの講習を始めたきっかけは、依頼者からの相談でした。昨年、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により講習事業を全面的に停止する状況になりましたが、ある依頼団体からWeb会議システムを使って幼児安全法講習を開催してもらえないか、と問い合わせがあり、オンラインでの講習を初めて行いました。  
オンライン講習を始めた当初は会議室にパソコンや人形を持ち込んで行っていました。新型コロナウイルスの影響が長期にわたるなかでも講習普及を続けるために、常設のスタジオスペースを設け今年度から本格的に運用を開始しています。

### オンラインと対面の講習で異なることはありますか？

通信環境によってはタイムラグが発生することもあり、直接対面で行うときよりスムーズにいかないことがあります。また、受講者の人数に対して受講される側のパソコンやタブレット端末が少ない場合、全ての方の実技の動きを確認できないことがあります。

一方でメリットもあります。受講される方からは対面のときよりも指導員の実演が見やすく、見せたい動きをアップしてくれるのでわかりやすいといった声がありました。また、複数の事業所がある企業でもそれぞれの場所で同時に講習を受けることもできます。

### 今後のオンライン講習について

新型コロナウイルス感染症の影響が続くなかでも、救急法などの赤十字講習について、受講者のニーズに応える形で講習を展開したいと考えています。そのためには、ボランティアの皆様が協力が欠かせません。現在のオンライン講習は職員を中心に実施していますが、将来的にはボランティアの皆様にもご協力いただける環境を整えたいと考えています。



伊藤美美結主事  
平林義康主事

また、これまで講習を受ける機会がなかった方にも受講のすそ野を広げることができると考えています。昨年度実施した幼児安全法のオンライン講習では「子育て中の方に自宅から参加してもらいました。受講者からは、「家を空けて講習を受けにくいのは難しいので助かった」という声を多数いただきました。他にも介護の方法などを扱う健康生活支援講習について「受講してみたいが介護のため家を離れない」という声をいただくことがあります。

このように子育てや介護をされている方の中には、講習を受けたくても会場に来ることができない方もいらっしゃると思います。オンライン講習であれば自宅から参加することができるので、こうした講習を必要とされている方に受講の機会を提供できるのではないかと考えています。

# TOPICS

トピックス

## 活動やイベントをご報告します

### NEWS ～日本赤十字豊田看護大学 オープンキャンパス～

#### 「OPEN CAMPUS 2021」開催のお知らせ

日本赤十字豊田看護大学では、令和3年7月17日(土)にオープンキャンパスを開催します。体験デモンストレーション、模擬授業体験、キャンパスツアー、キャンパスライフ相談など赤十字の看護にふれる絶好の機会です。  
また、「オープンキャンパスmini」を令和3年8月20日(金)と令和3年10月2日(土)に開催します。高校生の皆さん、ぜひご参加ください。  
※新型コロナウイルス感染症の影響で変更になる場合がありますので、最新情報はホームページをご確認ください。



<https://www.rctoyota.ac.jp/prospective/opencampus.html>

豊田看護 オープンキャンパス

検索

### CAMPAIN ～この夏、スマホで変わる 私たちの献血～

#### 10代夏の献血キャンペーン!

愛知県赤十字血液センターでは、「10代夏の献血キャンペーン」を実施します。県内8ヶ所の献血ルームまたは献血バスで献血受付された、10代の皆さんに、オリジナル記念品をプレゼントします!



期間は令和3年7月下旬から令和3年9月30日までです。

近年、若い方々の献血へのご協力が、減少傾向にあります。輸血用血液を必要とする患者さんの命を守るためには、若い方々の献血へのご協力が必要です。ぜひ、この機会に献血へのご協力をよろしくお願います。

### NEWS ～赤十字のふたつの病院が いかなる時も地域を守る～

#### 名古屋第一赤十字病院と 名古屋第二赤十字病院の名称が変わります

名古屋第一赤十字病院と名古屋第二赤十字病院は地域住民への更なる安心と高いレベルの医療を提供することを目的に、両病院の機能を活かし一体的な運営を行うため「日本赤十字社愛知医療センター」構想を進めています。この度、令和3年7月1日から両病院の名称は「日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院」と「日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院」に変わります。今後も地域の中枢病院として救急医療や高度医療、災害医療などの機能を高め、地域医療に貢献していきます。



上/日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院  
下/日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院

### REPORT ～赤十字運動月間 2021～

#### 赤十字運動月間キャンペーンを実施

日本赤十字社では5月を「赤十字運動月間」として、赤十字の理念や活動へのご理解とご協力を呼びかけるキャンペーンを展開しています。

新型コロナウイルス感染症の影響で、街頭キャンペーンなどを行うことができない状況ではありますが、放送各局のご協力により赤十字のテレビ・ラジオCM放送を行いました。

また、名古屋トヨペット株式会社の店頭や新幹線地下街エスカではデジタルサイネージで赤十字のCMを流していただいたり、トヨタモビリティ東名古屋株式会社の各店舗でポスターを掲出していただくなど、赤十字の活動PRにご協力いただきました。



上/名古屋トヨペット(株)榎深通店  
中/新幹線地下街エスカ  
下/トヨタモビリティ東名古屋(株)新栄店